

天皇皇后両陛下のご訪問



▲避難所になっていた南三陸町立歌津中学校で、被災した住民に声をかける天皇皇后両陛下。

写真提供 河北新報社

2011（平成23）年4月27日、津波の爪痕が生々しい南三陸町を天皇皇后両陛下（現上皇ご夫妻）が訪れた。伊里前小学校の校庭から壊滅した市街地を視察され、両陛下は海に向かって黙礼された。

避難所になっていた歌津中学校では、被災者の元に歩み寄って畳の上に膝をつかれ、被災した住民たちと目線を同じにして、気遣うお言葉を30分以上もかけられた。この日は、予定を10分ほど延長してお見舞いとなった。お言葉をかけられた住民たちは、「感謝でいっぱい。これを励みに前を向いて頑張りたい。」と涙を流した。

その3年後の夏、両陛下は再び南三陸町を訪問。志津川地区の仮設南三陸さんさん商店街を視察され、商店主に励ましのお言葉をかけられた。

天皇皇后両陛下がいつも被災地に心を寄せてくださっていることが、被災した住民たちの心を今も支え続けている。